

番号	19	堤防完成記念碑（左）		
所在地		佐賀市蓮池町大字小松		
災害別		水 害		
目的別		記念碑	建立年	不 明
特記事項				



佐賀江川の河口に近い佐賀市蓮池町小松の小松第1排水樋管横にある堤防完成記念碑。碑文には「塩洪水」のため甚大な被害を被って来たとある。「塩洪水」とは初めて聞か、佐賀江川は感潮河川で、大潮や高潮、洪水時の逆流により塩分濃度の高い川の水が農地にあふれて塩害を起こすことを指しているのではないかと思います。その防止のため堤防を築いたのではないだろうか。

佐賀江川は、かつては大きく蛇行し、流れが緩やかで、流域では、満潮時に河川のうわ水の淡水（アオ）を取水し農業用水として利用していたといわれる。現在では、佐賀江川は河川改修で直線化され、城原川との合流地点の河口には蒲田津水門・排水機場が設けられ大雨や高潮時、筑後川からの逆流を防ぐとともに内水の排水を行っている。

手前に建てられているのは「八大龍王」の祠で、文化7年（1810年）6月と刻まれている。

「小松村字七本松通称平口野の稲田は従来塩洪水に侵蝕され其損害甚大なりき區民議りて昭和十九年九月工事を起し昭和二十年四月完成せり茲に碑を建て記念とす」

(原文はカタカナ) 責任者、寄附者、協力者氏名 (略)



小松第1排水樋管



国土地理院電子国土 Web



佐賀江川 (下流方向)